

秦野市情報化推進委員会令和4年度第1回会議（会議概要）

日 時	令和4年10月3日（月）午前10時00分～午前11時10分	
会 場	西庁舎1A会議室	
出 席 者	委員	浅川委員、安藤委員、岡本委員、小山委員、佐藤委員、長瀬委員、山口委員、吉田委員（8名中8名出席）
	事務局	船村情報システム課長兼参事、西澤課長代理（ICT推進担当）、森谷課長代理（システム担当）、村上主任主事、大野主任主事
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 新任委員あいさつ 4 議題 はだのICT活用推進計画の進行状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新規事業及び見直し事業について (2) 個別事業の進行状況について (3) 計画に関する意見について 5 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市の取組みの紹介 (2) 委員の任期について 6 その他 7 閉会 	

次 第	会 議 概 要
開 会	（情報システム課長） ・会議出席へのお礼
資料確認 委員紹介	（課長代理（ICT推進担当）） ・配布資料の確認 ・新任委員紹介・あいさつ（小山委員、岡本委員）
議題	はだのICT活用推進計画の進行状況について （事務局） ・資料に基づき説明 ・説明内容について委員名簿順に質疑応答を実施

次 第	会 議 概 要
<p>意見 安藤委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における高齢者向けのデジタル活用講座について、非常に良い取り組みだと思うが応募状況はどのようなだったか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各メーカー10人の定員はすべて埋まったと聞いている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者からアンケート調査は実施したのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査自体は講師に任せているが、実施している。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降も是非継続していただけたらと思う
<p>意見 岡本委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種手続きのオンライン化の推進について、156件の手続きをオンライン化していて、今年度については7件、オンライン化することだが、課題や苦勞した点はあるか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当課では紙の受付に加えて電子の受付も実質的には増えることとなり、オンライン化をためらうことが課題としてある。 ・ 情報システム課では業務プロセスを確認し、簡略化できるところを提案している。例えば、これまで紙で申請を受けた内容をシステムに手入力していた部分を、データでの取り込みを提案するなど、一つ一つの業務をヒアリングしながら進めている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県でも同じような悩みを抱えている。申請の審査をRPAで実施し非常に楽になった例もあった。担当課とのやり取りが難しいと思うので、是非、一緒に進めていって欲しい。
<p>意見 小山委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RPAやAI会議録など庁内DXの業務の改善に向け多く取り組んでいるかと思うが、こういった取り組みを推進するにあたり、職員一人一人に向けた意識の改革や勉強会などの取り組みを今後する予定というのはあるのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各課に1名、ICTリーダーを設置しており、RPAの導入事例やAI会議録の導入等の内容を説明する機会を年1回設け、

次 第	会 議 概 要
	<p>ICTに関する取り組みを説明し、周知を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTリーダー会議で全体を説明していきながら、個別システムの研修会等を実施するなどきめ細かく対応し、定着させていきたいと考える。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の自治体においても、情報化推進部門の職員が積極的に取り組みを推進していく中で、課題を出していくためには担当課の意識を向上させていくことが重要だというような意見を多く聞いている。
<p>意見 佐藤委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの交付事務の円滑化について、取り組み状況の中に地域に出向いた出張申請とあるが、こういった事業は市広報をみていないとあまり気づかない。もう少しPRを拡大してほしい。 定員10名とあるが、需要から見ると高齢者のデジタル要望は非常に高いものがあると考えているので、検証をしながらもう少し規模を拡大していくことはできないか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に講座を確認したところ、きめ細やかな説明には10名程度が適切と感じている。講座の開催回数の増大を検討したい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> どの程度応募があり受けられなかった人が何人いたかということも調査し、今後の対策をしていただきたい。
<p>意見 長瀬委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政手続のオンライン化について、多言語化されているまたはそのような対応をしていく計画はあるか。日本で働く外国人に日本語での各種手続きは難しい。特に日本に来日された時点で行うものが多いため、多言語対応されていると手続きのミスなども減り、市役所からの確認なども減ると考える。 多言語化について、県や横浜など外国人が多いと思われる地域で実施されている事例はあるか。ノウハウや使いやすい変換ツールなどがあれば県内の自治体で横展開することで、県内での様式や用語が統一されるので、県内での引っ越しなどで分かり易く住みやすい街になる助けになると思う。

次 第	会 議 概 要
	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請システムについて、現状、多言語化は未対応である。多言語対応についてはシステム事業者に要望しており、実装時期は未定だが、今後のシステムの機能更新で実装する予定。 ・多言語化に対する他自治体の事例については、現状は収集できていない状況である。御意見いただいた神奈川県や横浜市などの事例も参考としながら、多言語化対応について検討させていただく。
<p>意見 山口委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス会議の推進について、紙を削減することによってゴミ資源の削減も効果に表れていると考える。また、AIの会議録作成システムについてもペーパーレス化に繋がる効果が期待できると考えており、この二つについての今後の取り組みが非常に気になっている。 ・誰ひとり取り残さないというキーワードの中には、高齢者に加えて、身体・精神・知的障害者が含まれていると考える。直接ではないにしても、例えば支援者に向けての講座をするなど、すべてのというキーワードの中に取り残されないよう、今後検討していただきたいと考える。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河野デジタル大臣のT w i t t e rでは、誰 1 人取り残されないという中にはすべての高齢者や障害者等の方がスマートフォンで操作できるようにすることが目的ではなく、スマートフォンが使えない方でもデジタル技術の恩恵を受けられることが目的であるという言葉があった。そういったところを踏まえながら検討を進めていければと思う。
<p>意見 吉田委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の異動届のオンライン化について、住民が異動した場合、学校においても子供がいる場合転出があるが、そういった部分の連携があまりできていないと感じている。学校にもスムーズに情報が伝わるような仕組みができるとよいと考える。 ・学校でも子供たちに1人1台タブレット端末が入り、急速なデジタル化の波が来ている。そういった中で教職員についても研修等に努めているが、ホームページ用システムなど、市と共通

次 第	会 議 概 要
	<p>のシステムの研修について受講する時間を配慮していただきたい。また、I C Tの活用に関する研修も含めて実施していただけるとありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちにも1人1台端末が渡っている中で、少数ではあるが、インターネット環境がない家庭がある。公衆無線L A Nの環境整備の中で、子供たちが放課後に使えるような仕組みや場所があれば非常にありがたいと思う。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課と情報共有をさせていただきたい。 ・公衆無線L A Nに関しては、各公民館、こども館に加えて今年度は図書館等に設置した。これらを保護者に周知することなども検討させていただきたい。
<p>意見 佐藤委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の6月にデジタル田園都市国家構想が策定されたが、はだのI C T活用推進計画での位置付けはどのようなか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に中間年度の見直しを予定しておりその際に、適切な形で位置付けることを検討したいと考える。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河野デジタル大臣がぬくもりを重視していきたいと話している。その部分を一層充実させていただけたらありがたい。
<p>報告(1)</p>	<p>本市の取組みの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報はだのデジタル化特集号及び令和4年度夏のD i g i 田甲子園の結果について、口頭及び紹介動画等により説明。
<p>報告(2)</p>	<p>委員の任期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化推進委員の任期について口頭にて説明。
<p>その他</p>	<p>特になし</p>
<p>閉 会</p>	<p>(情報システム課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議参加のお礼及び閉会のあいさつ